



# 拝啓、美術様

女子美術大学美術館収蔵品展

出逢ったときから、  
気になっていました。

2012.7.11(Wed) - 7.30(Mon)

10:00 - 17:00(入館は16:30まで) 火曜日休館 入館無料

女子美アートミュージアム

主催：女子美術大学美術館 後援：相模原市、相模原市教育委員会  
企画：女子美術大学芸術学部芸術学科（アートプロデュース研究IV）



女子美術大学  
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

JAM



満田コトコ《根無し草 II Déraciné II》1986年

出逢ったときから、  
気になっていました。



満田コトコ《根無し草 I Déraciné I》1986年

# 拝啓、美術様



ひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃、いかがお過ごしですか。  
長年いっしょにすごしてきたあなたへの想いをしたためたく、筆を取りました。  
嬉しい時、つらい時、傍に居てくれたのに、言葉にして伝えたことがありませんでしたね。  
わたしの気持ちを受け取ってもらえると嬉しいです。

この夏がすばらしいものとなりますようお祈り申し上げます。

敬具

美術作品に対する評価は、様々な価値観から成り立っています。  
例えば、美学や色彩学、構図分析などを背景とした学術的な価値や市場的な価値がある一方で、  
人それぞれの経験や感情を通して生まれる価値もあります。  
作品と鑑賞者との出逢いは、美術の評価が生まれる出発点と言えるでしょう。

本展は、女子美術大学芸術学部芸術学科〈アートプロデュース研究IV〉の授業において、「美術の価値」  
や「美術作品」に対する新たな思考を促す展覧会として企画したものです。  
今回は、女子美術大学美術館が収蔵する作品のうち、約40点におよぶ作品に対し、芸術学科4年生  
一人一人が抱いた想いを「作品に宛てた手紙」に託し、価値観の有り様を「告白」しています。

来館者の皆様も、作品と向き合いながら、美術への想いを綴ってみませんか。

## 関連イベント

いずれも参加費無料、申込不要、当日先着順

### ■ 林綾野 (キュレーター) トークイベント

7月14日(土)13:30-14:30

場所: 1011 スタジオ (10号館1階)

内容: 林綾野さんをゲストにお招きし、

「美術の価値」をテーマにお話をうかがいます。

定員: 100名



### 林綾野(はやしあやの) プロフィール

キュレーター 神奈川県横浜市出身  
美術館での展覧会企画、美術書の企画、執筆を手がける。アーティストの芸術性にあわせて、その人柄や生活環境、食への趣向などを研究。料理・レシピ制作を行う。  
『セザンヌの食卓』を2012年4月に刊行。

### ■ ワークショップ 鳥の絵はがきを作ろう

7月16日(月・祝)①11:00-12:30 ②14:00-15:30

場所: 女子美アートミュージアムロビー

内容: 手紙を運ぶ鳥を型どった絵はがきを作ります。  
どなたでもかんたんに作れます。

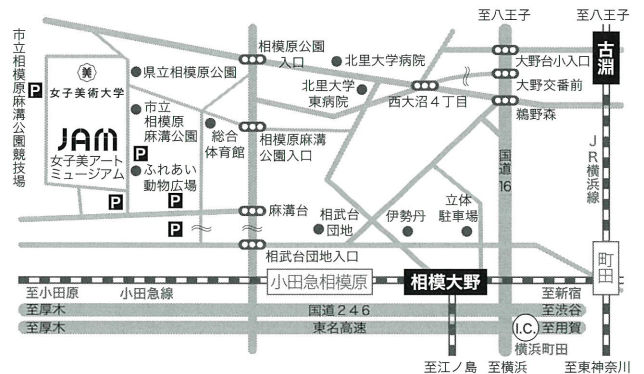
定員: 各15名

## 女子美アートミュージアム

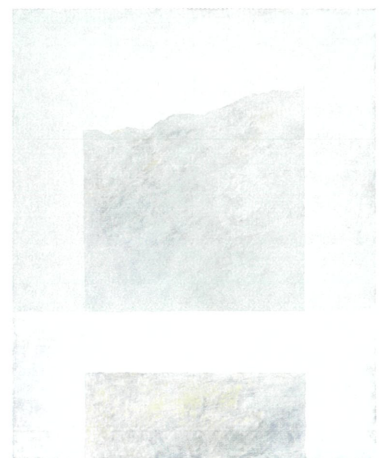
〒252-8538  
神奈川県相模原市南区麻溝台1900  
女子美術大学相模原キャンパス10号館1階  
電話: 042-778-6801  
大学 HP: <http://www.joshibi.ac.jp/>

### アクセス

- ①小田急線相模大野駅北口バス乗り場3番「女子美術大学」行き 乗車約20分  
※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前乗り場4番乗車
- ②JR 横浜線古淵駅 バス乗り場2番「女子美術大学」行き 乗車約15分
- ◎車でご来場の方は市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください



清水美三子《春浅し音》1994年



高尾みつ《風景回帰 84-2》1984年  
[表] 同作品